

2014年2月期 第2四半期(第32期) 決算説明会

ソーバル株式会社

東京証券取引所(JASDAQスタンダード)

証券番号:2186

平成25年10月7日

代表取締役社長

推津 順一

総スライド数: 13ページ

Result

- 1-1 業績ハイライト
- 1-2 財政状態、キャッシュフロー
- 1-3 売上構成比(セグメント／主要顧客)
- 1-4 総括

Future

- 2-1 今期の見通しと業績予想
- 2-2 配当予想

Strategy

- 3-1 解決すべき課題
- 3-2 M&A戦略
- 3-3 R&D戦略

Information

- 4-1 株主優待制度

(百万円)

科目	2013年 2月期2Q 実績	2013年 2月期 実績	2014年2月期					
			2Q実績	前年同期比	2Q 期初予算	2Q 予算達成率	通期 期初予算	通期 予算達成率
売上高	3,227	6,433	3,331	103.2%	3,307	100.7%	6,700	49.7%
営業利益	274	457	288	105.2%	250	115.4%	490	58.8%
経常利益	279	464	292	104.6%	250	117.0%	490	59.7%
当期純利益	155	246	168	108.9%	130	129.9%	265	63.7%

- 当期純利益が若干予算を上回りましたが、ほぼ予定通りに進捗しました。

科目	2013年 2月期 2Q	2013年 2月期	2014年 2月期 2Q
総資産	2,868百万円	2,908 百万円	3,183百万円
純資産	2,147百万円	2,204百万円	2,334百万円
自己資本比率	74.9%	75.8%	73.4%
1株当たり純資産	494円11銭	507円23銭	537円05銭
営業活動によるCF	294	343	401
投資活動によるCF	△3	△123	0
財務活動によるCF	△34	△68	△38
四半期期末残高	1,575	1,469	1,830

➤ 自己資本比率は、前事業年度末より減少したものの、依然高い比率を維持。1株当たり当期純利益も順調に推移。

➤ キャッシュフローにつきましては、それぞれの項目で特筆すべき点はなし。
➤ 四半期期末残高は順調に増加。

※キャッシュフロー、四半期期末残高は百万円単位

Result 1-3 売上構成比(セグメント／主要顧客)

科目	2012年 2月期	2013年 2月期	2014年 2月期2Q
特定派遣	63.5%	62.3%	62.4%
業務請負	34.6%	36.9%	36.2%
その他事業(RFID等)	1.9%	0.8%	1.4%
キヤノングループ (内キヤノン株式会社)	75.8% (72.7%)	70.7% (67.7%)	65.3% (63.0%)
ソニーグループ (内ソニー株式会社)	6.6%	7.4% (5.8%)	9.3% (3.9%)
富士通グループ	非開示	8.7%	9.4%
NTTグループ	非開示	4.2%	4.3%
その他	17.6%	9.0%	11.7%

➤ RFID好調でその他事業の割合が増加。

➤ 売り上げベースではキヤノンは横ばい。ソニー、富士通が増加。

Point 1

上期は予定通り進捗。
大きなトピックスは特になし。

Point 2

コアード社好調。
MCTEC社もオムロンソフトウェアと取引開始。

Point 3

新卒教育順調。
次年度採用も、今年度を上回るペース。

利益がやや上振れも
通期ベースでは計画に変更なし

課題

- 景気回復によりパートナー確保が難航
- 業界トレンドとして、請負よりも派遣スタイルが増加傾向

景気回復によりパートナー確保が難航

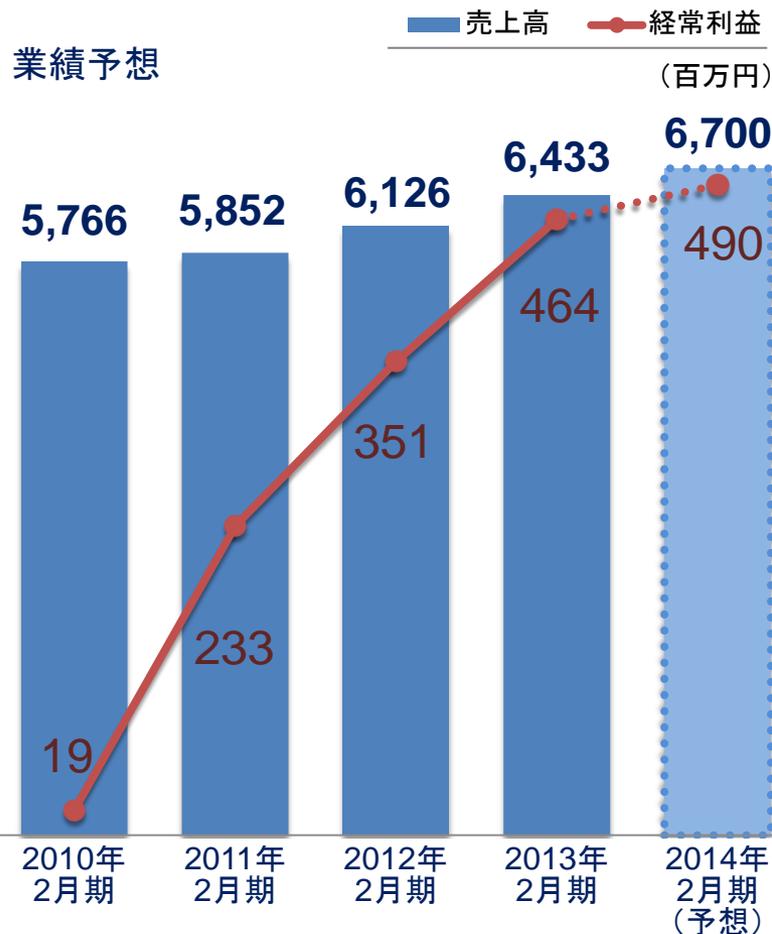
取り組み

- 子会社2社との連携強化
- 積極的なパートナー開拓

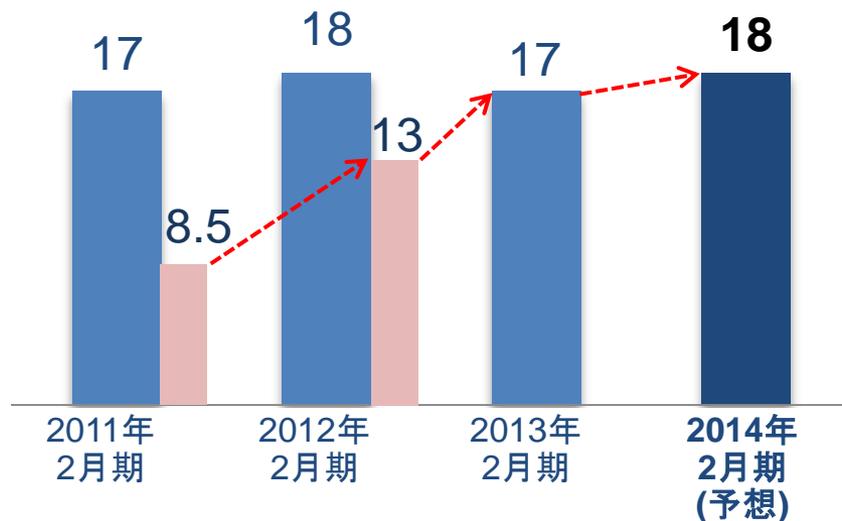
業界トレンドとして、請負よりも派遣スタイルが増加傾向

取り組み

- オンリーワン技術の習得
- 大型案件受注の土台作り



基準日	一株当たり配当金			配当性向
	第2四半期末	期末	年間	
2014年2月期 (予想)	8円00銭	10円00銭	18円00銭	29.5%
2013年2月期	8円00銭	9円00銭	17円00銭	29.9%
2012年2月期	10円00銭	8円00銭	18円00銭	31.0%
2011年2月期	7円00銭	10円00銭	17円00銭	29.6%



➤ 配当性向約30%の水準を維持。

※2011年11月1日付けで1株につき2株の株式分割を実施。

1. 人材確保

- ・新卒採用を主軸とした人材確保
- ・中長期の採用計画と環境づくり

順調

概ね順調

2. 販路拡大

・特定顧客依存からの脱却

概ね順調

- ・為替変動等のリスクに対応できる体制づくり

概ね順調

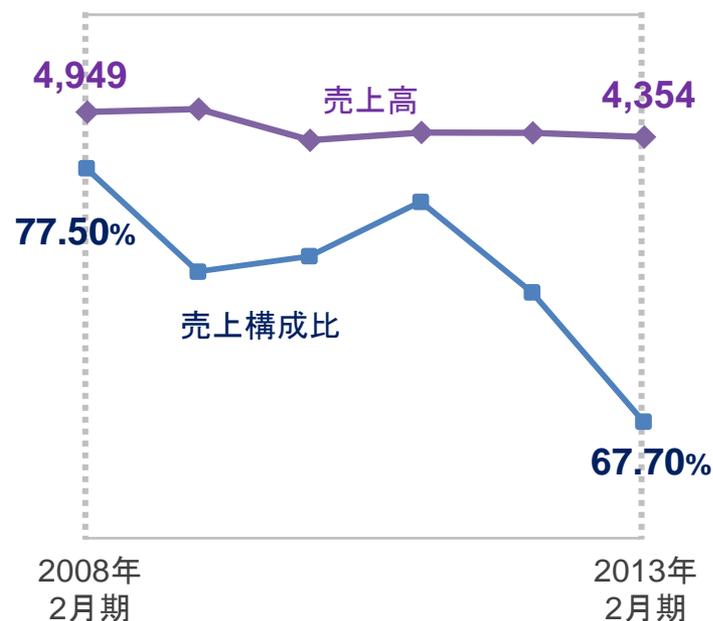
3. 高齢化対策

- ・定年まで活躍できる環境を構築
- ・労働集約型ビジネスに頼らない収益の柱を確保

模索中

模索中

Point 1 キヤノン株式会社の 売上構成比が減少



Point 2 取引社数が17社(2008年)から 48社(2014年2Q)へ増加

エンジニアリング事業の充実

「分野の多様性」

- 医療分野
- 自動車分野

Target

- 後継者不足
- 営業力不足
- 1~3億
- 30~60名規模



新分野への対応

Android / iOS

- ✓新規顧客開拓
- ✓開発依頼



先端技術の要素開発

RFID関連 / 画像処理関係

- ✓特許取得



ネット関連分野

クラウドの活用等

- ✓ポータルサイト運営
- ✓M&A戦略加速



[論文]HDR法:仮説駆動型レビュー手法の提案

～HDR法の実践による生産性と品質の同時向上～

品質評価部 高橋功課長

対象

毎年8月31日(基準日)に当社株式を100株以上ご所有の株主様

優待内容

東北の名産品やお米など4種類の優待品の中から、ご希望のギフトをお選びいただけます。ギフトのご指定がない場合は名産品をお届けいたします。



株主優待 ギフト

(2013年
8月31日
基準日)

① 名産品



岩手県の
お醤油・ポン酢・
ごまだれのセット

② お米



宮城県の
新米(1.5kg)

③ おまかせ



青森県の
りんごジュース
(3本)

④ 義援金



1口2,000円の
義援金を寄付
(総額は後日弊社HP上で
お知らせします)

贈呈時期

年1回実施、毎年1月下旬頃お届け予定

応募方法やギフト配送業者、その他株主優待に関する詳しい情報につきましては、当社のホームページをご覧ください。

☐ http://www.sobal.co.jp/ir/kabu_yutai.html

役員、社員一同、一丸となって
企業価値向上に邁進してまいりますので、
引き続きご愛顧のほど
よろしくお願い申し上げます。